

# ■守山駅東口周辺の現況および課題の整理

## ◆現況整理

### ◀東口周辺の基本情報▶

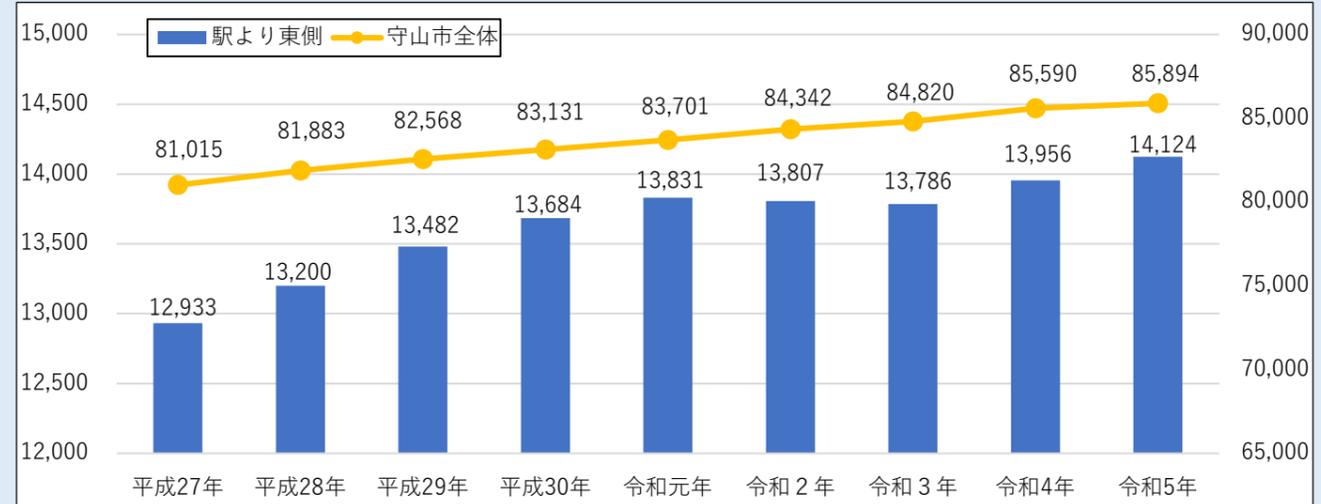
#### 【人口】

・守山市全体の人口が約 85,894 人に対して、線路より東側エリア(吉身町、岡町、立入町、浮気町、勝部町、千代町、阿村町、伊勢町、吉身7丁目、勝部4～6丁目)の人口は 14,124 人であり、市全体の約 16%を占めている。※令和5年10月31日時点

#### ■線路より東側エリア



#### ■市全体および線路より東側エリアの人口推移



※毎年の10月31日時点

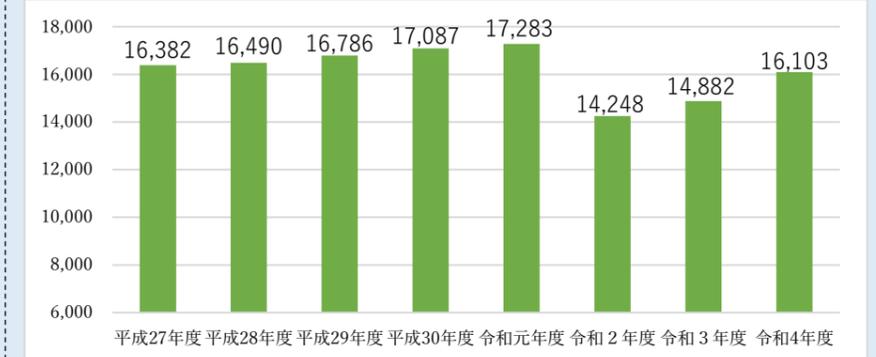
#### 【JR守山駅の乗車人員数(1日平均乗車人員数)】

・JR守山駅の1日平均乗車人員数は平成27年度から令和元年度にかけて、増加傾向である。  
 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、令和2年度から約3000人減少しているが、令和3年度以降からは再び増加傾向となっている。令和4年度の1日平均乗車人員数は約16,103人まで回復している。

#### [滋賀県内の駅の1日平均乗車人員数の順位 ※令和4年度時点]

1. 草津駅 27,446人
2. 南草津駅 25,383人
3. 石山駅 19,940人
4. 瀬田駅 16,442人
5. 守山駅 16,103人
6. 大津駅 16,075人

#### ■JR守山駅の1日平均乗車人員数の推移

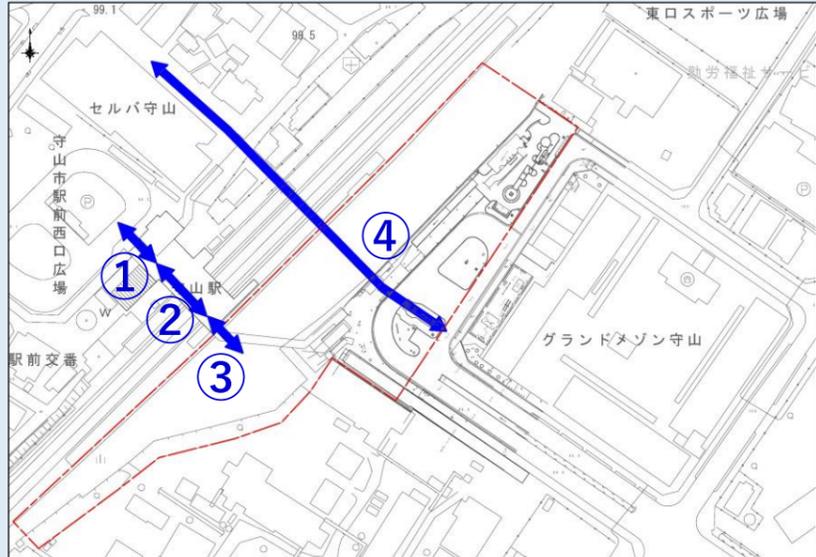


※出典：滋賀県統計書

※令和4年度については、滋賀県へのヒアリングに基づく暫定数値であり、今後変更となる可能性がある

#### 【線路を跨ぐ東西の通行量】

※7:00~9:00 17:00~19:00 (計4時間)



- ①西口  
 駅⇒西口：3,689人/4h  
 西口⇒駅：5,051人/4h
- ②東西  
 西口⇒東口：306人/4h  
 東口⇒西口：312人/4h
- ③東口  
 駅⇒東口：1,949人/4h  
 東口⇒駅：2,267人/4h
- ④地下道(階段・地下道)  
 西口⇒東口：180人/4h  
 うち自転車2人/4h  
 東口⇒西口：180人/4h  
 うち自転車11人/4h

#### 【駅周辺の土地利用状況】

##### (東口周辺)

- ・駅から250m圏内にはマンション等の住宅や工場等の業務施設が主に立地している。
- ・駅から500m圏内には住宅(マンション等)、業務施設に加えて、一部エリアにはスーパーやコンビニ等の商業施設が立地している。

##### (西口周辺)

- ・駅から250m圏内には、マンション等の住宅やマンション兼用の商業施設(飲食店等)が主に立地している。また、駐車場(コインパーキング)等の交通施設も多い。
- ・駅から500m圏内には住宅街(戸建住宅等)が多く、飲食店やスーパー等の商業施設も立地している。

#### ■駅周辺の土地利用状況



凡 例	
	駅から250m圏内
	駅から500m圏内
	住宅(戸建、マンション等)
	住宅兼商業
	商業施設(飲食店、スーパー等)
	業務施設
	宿泊施設(ホテル)
	教育施設(保育園、学習塾等)
	公園
	駐車場
	駐輪場

◆現況整理

◀東口▶

【土地利用】

・東口には駅前広場(ロータリー)、平面駐車場(コインパーキング)、市営駐輪場(守山駅前東口自転車駐輪場)等がある。

【交通施設】

・東口の子な交通施設として、駅前広場(ロータリー)とその南東側の一方通行道路(北東から南西への一方通行)がある。  
 ・駅前広場には一般車、身障者専用、タクシー、バス等の車両ごとに乗降場やプール(駐車場)が整備されている。

■東口駅前広場(ロータリー)



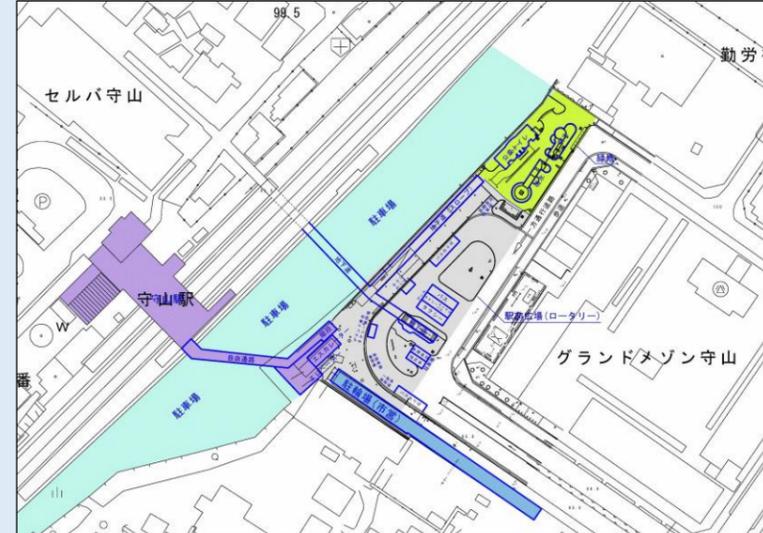
■駐車場(コインパーキング)



■地区の現況図



■駅前広場施設配置現況図



■東口の交通機能及び施設

機能・施設	概要
乗降場	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般車(1台)</li> <li>身障者専用(1台)</li> <li>タクシー(2台)</li> <li>路線バス及びコミュニティバス(2台)</li> </ul>
プール	<ul style="list-style-type: none"> <li>タクシー(2~3台)</li> <li>大型バス(1台)</li> <li>マイクロバス(1台)</li> </ul>
専用駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>身障者専用(2台)</li> <li>指定車(1台)</li> </ul>

◀西口▶

【土地利用】

・西口には駅前広場(ロータリー)、平面駐車場(市営駐車場)、駐輪場(民間)、緑地等がある。

【交通施設】

・西口の子な交通施設として、駅前広場(ロータリー)とその北西側には、市道駅前グリーンロードがある。  
 ・駅前広場には一般車、身障者専用、タクシー、バス等の車両ごとに乗降場やプール(駐車場)が整備されており、東口の駅前広場よりも交通機能及び施設の規模が大きい。

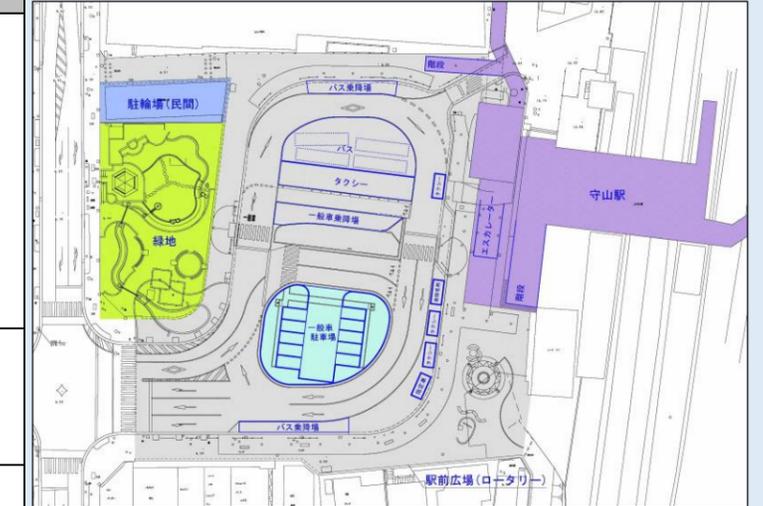
■西口の交通機能及び施設

機能・施設	概要
乗降場	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般車(8台)</li> <li>身障者専用(1台)</li> <li>タクシー(2台)</li> <li>デマンド乗合タクシー(1台)</li> <li>路線バス及びコミュニティバス(3~4台)</li> </ul>
プール	<ul style="list-style-type: none"> <li>タクシー(10台)</li> <li>路線バス及びコミュニティバス(4台)</li> </ul>
専用駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般車(10台)</li> </ul>

■地区の現況図



■駅前広場施設配置現況図



◀東西の移動▶

・東西への歩行者(または自転車)のアクセス路として、自由通路(階段、エスカレーター、EV)と地下道(階段及びスロープ：自転車通行可)が整備されている。  
 ・自動車利用による東西への移動については、駅より北側にある県道高野守山線(JR アンダーパス)や主要地方道守山・栗東線(高架橋)や南側にある市道勝部1号線(踏切道)や県道片岡栗東線(高架橋)が主なアクセス道路となっている。

■自由通路



■地下道(階段部分)



■地下道(スロープ部分)



◆市民等からの意見聴取

《アンケート調査結果》

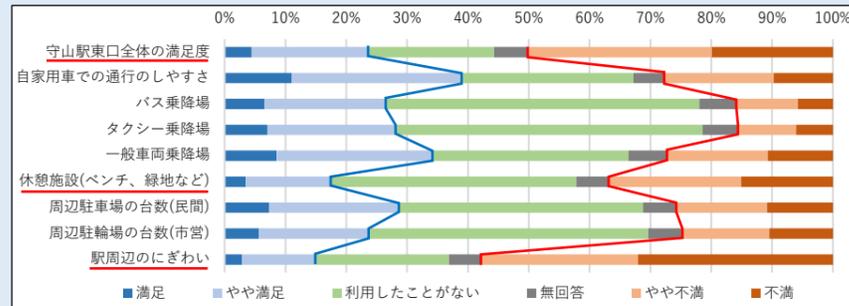
【アンケート調査概要】

調査期間	令和5年9月15日(金)～9月30日(土)
調査方法	紙面アンケート、WEBアンケート
対象者	守山市民：2,000名 ※無作為抽出 駅利用者等：2,100名(うち駅配布：1,300名、窓口設置：400名、宿泊施設：200名、企業配布：200名)
回答者数	紙面アンケート：532件 WEBアンケート：673件 合計：1,205件

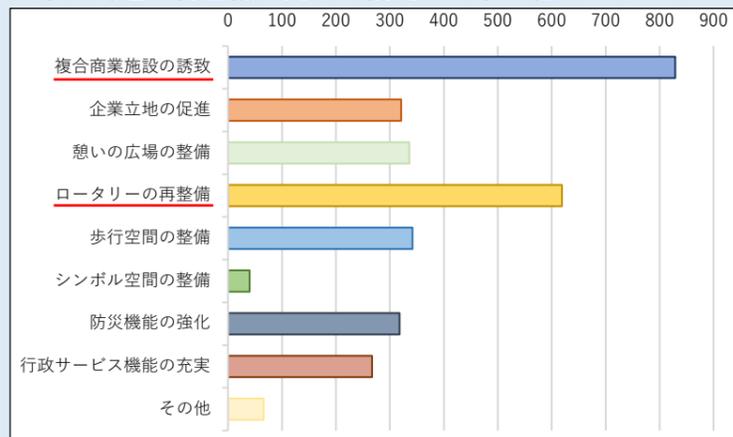
【東口に関する主な回答】

- 東口は「守山駅東口全体の満足度」、「駅周辺のにぎわい」に対して「不満」と回答する方が多く、東口周辺のにぎわいや活力が足りないといった意見が多かった。
- 今後、東口周辺の再整備を進めていくにあたり優先して取り組むべきことは、身近な買い物や飲食が楽しめる「複合商業施設」の回答が多く、また、東口に将来求める機能として、「カフェやレストラン等の飲食店」といった回答が多かった。
- また、駅前広場(ロータリー)に必要な整備は、「一般車両の乗降場の拡張」や「一時駐車場の整備」、「駅改札口により近いロータリーの整備」と回答する方が多く、ロータリーの再整備を求める意見が多かった。

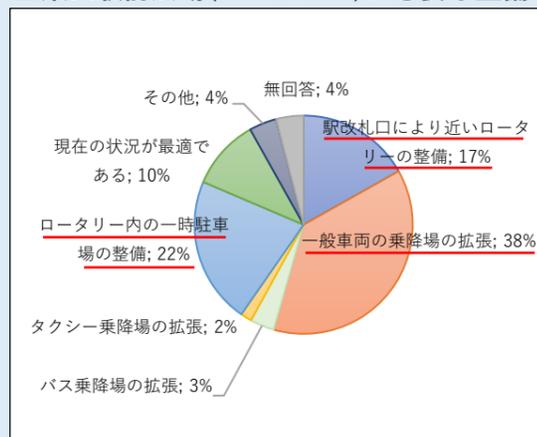
■東口に対する満足度



■東口周辺の再整備に向けて優先して取り組むべきこと



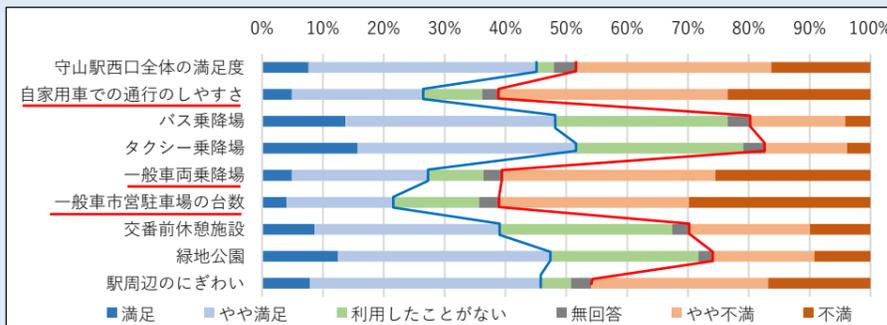
■東口駅前広場(ロータリー)に必要な整備



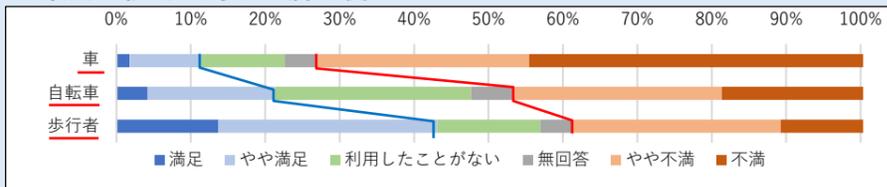
【西口に関する主な回答】

- 西口は「自家用車での通行のしやすさ」や「一般車両乗降場」、「一般車両市営駐車場の台数」に対して「不満」と回答する方が多く、車が利用しづらいといった意見が多かった。
- そのため、西口に将来求める機能として「一般車両の乗降場」や「一般市営駐車場」の整備を求める回答が多かった。

■西口に対する満足度



■東西の移動に対する満足度



【東西の移動に関する主な回答】

- 東西の移動は車利用・自転車利用・徒歩のいずれの場合も「不満」と回答する方が多かった。
- 自由通路の拡張や地下道の改修、新たな通路の新設など、東西の移動のための機能を強化してほしいという意見が多かった。

《ワークショップ結果》

【ワークショップ開催概要】

開催日時	令和5年10月21日(土) 14:00～17:00
開催場所	守山市役所 2階防災会議室
参加者	35名(うち阿村自治会：4名、浮気自治会：5名、岡自治会：4名、勝部自治会：5名、グランドメゾン守山自治会：3名、立入自治会：5名、千代自治会：4名、レックス式番館自治会：5名) 《グループ分け》7班(A～G班)

ワークショップの意見まとめ

【東口と西口の役割分担について】

- 東口と西口の役割分担として、西口は賑わい・商業が多く、東口は今まで通り、落ち着いて住み続けられる場所であってほしいという意見が多かった。
- また、交通渋滞等の問題もあり、東口に商業施設、業務施設を誘致するならば、合わせて考えてほしいという意見も多かった。

【東口の機能について】

- 東口の機能として、活気ある商業施設だけでなく、多世代の方たちが集い、居心地が良い空間(サードプレイス)が東口にはあってほしいという意見が多かった。

【東西をつなぐインフラ機能について】

- 建物(都市機能)だけでなく、駅前広場(ロータリー)等の交通機能や東西をつなぐインフラ機能についても強化してほしいという意見が多かった。

【交通利便性について】

- 守山駅までの交通手段は、自家用車の利用者が多く、通勤・通学時の交通渋滞が守山駅周辺の問題であるという意見が多かったため、自家用車の利用を減らし、自転車などの利用を増やす環境づくりは解決策の1つとなる。

■ワークショップ当日の様子



《交通事業者ヒアリング》

実施時期	令和5年10月27日(金)、11月1日(水)
交通事業者	バス事業者：近江鉄道株式会社 タクシー事業者：近江タクシー株式会社、守山タクシー株式会社

【現在のロータリーの利用状況、問題点について】

- 朝夕の慢性的な交通渋滞等の交通問題による営業面への影響もあり、守山駅周辺全体としての交通課題の改善を求める意見があった。

【東口ロータリーの再整備にあたり求める機能、規模などについて】

- 再整備後の東口ロータリーの交通機能としては、基本的に現状確保で良いと考えるが、利用者ファーストの視点で考えていく必要があるとの意見であった。

【東口再整備基本計画策定についてのご意見やご要望について】

- 飽和状態に陥っている西口ロータリーも含め、駅周辺全体の交通動線の強化(高架道路の複線化)や改善(信号制御、右折レーンの改良等)とあわせた計画づくりが必要との意見があった。

## ◆現況や市民等からの意見聴取を踏まえた問題点

### 《東口》

#### (1) 土地利用及び都市機能等

- ・西口に比べて利用者が少ないため、賑わいや活気が少なく、全体的に雰囲気が暗い。
- ・一方、現在の落ち着いた雰囲気が東口の良さでもある。
- ・カフェ等の飲食店が少なく、市民や駅利用者等が利用したいと思う施設が少ない。
- ・多世代が集える居心地が良く快適に過ごすことができる空間（広場）がない
- ・子供が気軽に遊べる広場が少ない。
- ・ロータリー北側には休憩施設(ベンチ、緑地)があるが、あまり利用されていない。
- ・一方通行道路が分かりにくく、歩道は狭い。

#### (2) 交通施設

##### 【駅前広場(ロータリー)】

- ・朝夕の通勤・通学の時間帯は企業送迎バスも含めてロータリーでの駐停車が多く通行の妨げになっている。
- ・駅前広場(ロータリー)の規模が小さく、一般車両の乗降場や駐車場の数が少ない。
- ・一方で、西口に比べると駅前広場での乗り降りや通行はしやすい。
- ・乗降場(身障者専用等)の位置が悪く、停車しづらい。
- ・路面表示や案内板など、利用者ファーストの視点でつくられていない。

##### 【公共交通】

- ・公共交通の待機場が小さく、バス路線、タクシーの台数も少ない。

##### 【駐輪場】

- ・駐輪場(市営駐輪場)が老朽化しており、空き台数も少ない。

#### ■4車線道路に駐停車している自家用車・バス



#### ■利用者が少ない待合・滞留スペース



### 《西口》

#### (1) 土地利用及び都市機能等

- ・西口は東口に比べて利用者が多いため、賑わいや活気がある。
- ・東口に比べて、賑わいや活気はあるものの、気軽に利用できるカフェやレストラン等の飲食店やスーパーなどの日用品店が少ない。

#### (2) 交通施設

##### 【駅前広場(ロータリー)】

- ・朝夕の交通渋滞により、自家用車で利用しづらい。
- ・一般車乗降場や駐車場の少ない。

##### 【公共交通】

- ・バス路線、タクシーの台数が少なく、乗降場も分かりにくい。
- ・朝夕の通勤・通学の時間帯はバスも飽和状態となっている。

#### ■朝の時間帯の駅前広場(ロータリー)



### 《東西の移動》

#### (1) 徒歩・自転車利用

- ・既存の駅自由通路は狭く、東口の駅前広場(ロータリー)から駅改札ホームまでのアクセスが不便である。
- ・既存の地下道は狭いイメージがある。

#### (2) 自動車利用

- ・既存の高架橋(南守山街道)や踏切(南側)は頻繁に交通渋滞が発生しており、自動車利用による東西の行き来が不便である。

#### ■幅員が狭い駅自由通路(左)、地下道(右)



#### ■高架橋(南守山街道)



## ◆守山駅東口再整備に向けた課題

### 課題1：西口との連携をふまえた魅力やにぎわいの向上に寄与する都市機能の導入

- ・東口は西口に比べて駅利用者が少ないため、にぎわいや活気が少ない。
- ・そのため、東口の良さでもある落ち着いた雰囲気は残しつつ、西口との連携や機能分担を図りながら、東口の魅力や賑わいの向上につながる都市機能を導入する必要がある。

### 課題2：交通利便性の向上に向けた駅前広場(ロータリー)の再整備

- ・駅前広場(ロータリー)までの交通手段は、徒歩や自家用車の利用者が多く、通勤・通学時のロータリー内の交通渋滞が課題となっている。
- ・そのため、一般車、バス、タクシーなどの車両と、歩行者や自転車との動線を整理するなど、安全で快適な駅前広場(ロータリー)の再整備が必要である。

### 課題3：東西の移動における利便性・快適性の向上

- ・既存の駅自由通路や地下道は狭く、老朽化が進んでいるなど、歩行者や自転車利用者の東西の移動が課題となっている。
- ・そのため、既存の駅自由通路や地下道の改修、新たな通路の新設などにより、東西の移動における利便性・快適性の向上を図る必要がある。